



ボランティア部門
《大学等》

消費・安全局長賞

北九州市立大学 地域共生教育センター 『食』から学ぼうプロジェクト

(福岡県) 活動期間 4年

～若者の食の貧困、食に対する意識の低さを解消するために～

若者の意識改善 を目指して

本プロジェクトは、北九州市立大学地域共生教育センターにおけるプロジェクトの1つです。「若者の食に対する意識を高める」ことを目的として、学部を問わず集まった学生が行っているボランティア活動です。大学生が食育について自主的かつ地域社会とのつながりを大切にしながら学習しています。学習成果は子供たちや同世代の学生に伝えています。主に子供食堂における昼食献立づくりと調理、地域の小学校における食・健康・環境学習支援、お弁当づくり推進を行っています。



小学校における学習支援

手づくりの
粘土教材



ナス

プチトマト



ピーマン



食を通して地域に貢献

子供食堂において、地域の耕作放棄地を活用して栽培された食材を利用し、学生がメニューを考え調理して食事を提供しています。その際、料理に使われている野菜当てゲームを行うなど工夫しながら子供たちの興味を引き出して学びにつなげています。また、地域の小学校において、児童の食生活を把握するため、子供たちと一緒に給食を食べ、食べ物について話し合う機会を作り、活動に活かしています。



調理の様子

子供食堂で
一緒に食事



現状を見直そう 「マイ弁当デー」

学生自身が旬の食材を使ってお弁当を作り、中身を見せ合い、栄養や調理について話し合う「マイ弁当デー」を行い、食について考える機会を設けています。さらに、お弁当の写真をSNSに投稿し、学生はSNS読者からのフィードバックをヒントに改善に役立っています。



話がはずむ！
マイ弁当デー



このような栄えある賞をいただき、大変嬉しく思います。これまで私たちの活動にご協力くださいました皆様へ、心から感謝申し上げます。今後も地域とのつながりを大切に、より一層食育活動に励んで参ります。

『食』から学ぼうプロジェクト 学生一同